

次期学長紹介

次期小樽商科大学長 **秋山 義昭** (現 副学長)

ごあいさつ

私は、この4月から、山田学長の後を引き継ぎ、学長を勤めることとなりました。

本学では、前身である小樽高商の設置以来、特に地元の皆さんの熱い支援を受けて発展してまいりました。昨年の10月12日から11月25日まで市立小樽文学館で開かれた開学90周年展の資料を見ましても、まさに小樽商科大学は、市民の皆さんに愛され、ともに歩んできたといってもよいと思います。今後とも、地域との関係を大切に、地域に貢献できる大学に発展していくことを願っております。

そのためには、大学の考え方や活動の状況を学外の方々にも広く知ってもらう必要があります。この「ヘルメス・クーリエ」も、このような目的から、大学と地域とを結びつける絆として発行されたものです。これから、一層読みやすく親しみやすい紙面作りを心がけて充実を図ってまいりたいと考えています。

ご承知のように、国立大学は、今、法人化、再編統合、少子化等の困難な問題を抱え、未曾有の試練に立ち向かおうとしています。ここ数年は、これらの難問をいかに解決し、将来を見誤ることなく、いかに方向性を定めていくかといったことが、最大の課題になることでしょう。

小規模ながら個性輝く大学作りを目指して、微力ではありますが全力を尽くすつもりですので、山田学長同様、何卒よろしくお願いたします。



略歴

昭和40年 3月 北海道大学法学部法学科卒業
昭和42年 4月 北海道大学法学部助手
昭和44年 4月 小樽商科大学短期大学部講師
昭和46年10月 同上 助教授
昭和57年 4月 小樽商科大学商学部助教授
昭和58年10月 同上 教授
平成4年 7月 小樽商科大学学生部長
平成13年 4月 同上 副学長
学位 / 法学博士
専攻 / 行政法学

INFORMATION

本学創立90周年の各種記念行事を実施

本学は明治44年に全国で5番目の高等商業学校として開学し、昨年で90周年を迎えました。これを記念して、昨年の7月6日に小樽グランドホテルで記念式典が挙行され、引き続き同ホテルで記念講演会と祝賀会を行ない、また同日には、本学附属図書館で貴重図書展示会と講演会を実施しました。式典には学内外の多くの関係者が出席され、山田学長が90年の歴史を振り返るとともに、ここ10年ほどの「国際交流事業の推進による積極的な留学生の受入れ、札幌サテライトの設置による社会人教育の充実、ビジネス創造センター設置による地域産業振興への貢献」の成果を紹介した上で、「今後の国民そして地域の期待に添えうる新たな大学造りの決意」の式辞を述べ、各界からも多くの祝辞をいただきました。

その後、9月6日～7日にはITを利用したビジネスについての国際シンポジウムを、海外5か国から10名の著名な研究者を招聘して開催し、大学関係者以外にも多くの経済界、官公庁、一般市民の方の参加がありました。また、10月12日～11月25日には、市立小樽文学館との共催の特別展示展を開催しました。展示品は、昭和6年当時の校舎を再現した大型ジオラマ模型を始め、小樽高等商業学校の創立期から現在に至るまでの期間を7期に分け、約500点の資料をそれぞれの時代にあわせて展示しました。展示期間中には2200名を超える市民の見学があり、本学の歴史と地域との密接な関係が再確認され、成功裏のうちに全行事を終了しました。

平成14年度
前期スケジュール

- 4月 入学式
前期授業開始
- 5月 定期健康診断
学生自治会定期大会
- 6月 大学祭
- 7月 創立記念日
前期定期試験
- 8月 大学説明会(高校生向け)
夏季休業
緑丘戦没者慰霊祭
大学院案内・募集要項発行
- 9月 学位授与式(9月卒業)

公開講座実施予定

「外国人による集中国語講座シリーズ」

時 期 / 6月～7月
講 座 名 / (開設日数、総時間)

「外国人による集中中国語会話」
(12日間、計24時間)

「外国人による集中ロシア語会話」
(12日間、24時間)

「外国人による集中英会話(前期)」
(6日間、12時間)

定 員 / 各20名
実施場所 / 本学マルチメディアホール

詳細については、総務課地域連携推進室へお問い合わせください。
連絡先 : 0134-27-5210

編集後記

このたび(地元地域との親交を深めるべく)広報誌『ヘルメス・クーリエ』を創刊しました。雑誌づくりに未経験のスタッフたちは次々に起こる課題に対して、商大とは? 商大らしさとは? について考えながら、腕まくりをして冬じゅうかけて取り組みました。次号では《90周年特集 Part 2》と商大学生による《覆面座談会》その他を予定しています。「開かれた大学を目指して。」この目的に向かっての先の長い旅が始まりました。未永くお付き合い頂けるよう励みたいと思います。(M記)

編集スタッフ

江口 修、田中 康博、西亦 令佳、
宝福 則子、堀川まゆみ、前田 東岐、
道野 真弘